

リーディングDXスクール事業【実践事例】

佐渡市立内海府中学校（新潟県）【指定校】

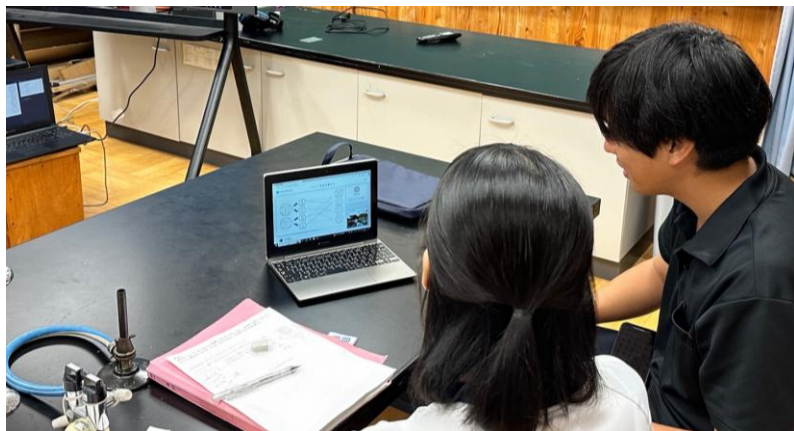
【取組内容】 オンライン授業をととした「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

【目的】

本校は小規模校であり、生徒同士の『協働的な学び』を十分に実施することが困難な状況にある。この課題に対応するため、オンライン授業を導入し、より多くの生徒との意見交換を可能にすることで、生徒が多様な視点に触れ、自身の考えを見直し、より深い学びを実現できる環境を整備する。

【実践内容】

中学校第三学年理科「遺伝と進化」
小規模校同士でオンラインでつなぎ、授業を行った。



【実践例①】「脊椎動物の進化の道すじ」

Whiteboard機能を活用し、カモノハシのような『2つの分類の中間的な特徴をもつ動物』について、オンライン上で共同編集機能を用いて特徴を整理した。その過程で、既習の『動物の分類基準』を参照しながら、オンライン上の生徒同士で議論を重ね、中間的特徴を持つ動物の分類について合意形成を図った。

【実践例②】「遺伝の規則性」

「遺伝の規則性」の学習の発展で、「血液型の遺伝」について学習を行った。その内容をまとめ、Teamsの会議機能を活用して、学習内容の発表と事前に確認しておいた親の血液型から子の血液型をあてる活動を行った。自分が調べたことを相手に伝える言語活動につながった。

【取組の成果】

- ・生徒が他人の意見を聞き、自分の考えを練り直すことができた。
- ・オンライン相手の生徒の疑問点や授業の振り返りを共有することで生徒は新たな視点で物事をみて、興味・関心を高めることができた。